

各施策における指標の評価

第4章 施策の展開方向	指標数	A 100%	B 80%~100%	C 70%~80%	D 70%未満	評価不可
第1節 東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化	9	3	5	0	0	1
		33.3%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%
第2節 多様な担い手の確保・育成	9	4	5	0	0	0
		44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%
第3節 生産基盤の確保・整備と試験研究の推進	9	6	3	0	0	0
		66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
第4節 需要を創出する流通・販売戦略の実践	10	5	4	0	1	0
		50.0%	40.0%	0.0%	10.0%	0.0%
第5節 戦略的な生産活動の展開	23	16	6	1	0	0
		69.6%	26.1%	4.3%	0.0%	0.0%
第6節 活力と魅力ある農山漁村の創生	10	7	3	0	0	0
		70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	70	41	26	1	1	1
		59%	37%	1%	1%	1%

※ 増加を目指す指標→実績値/目標値×100 (%) 減少を目指す指標→目標値/実績値×100 (%)

<評価・分析>

○全指標のうち59%がA評価、37%がB評価となっており、各節の取組は概ね計画どおり進行している。

○被災地における営農再開やほ場・路網の整備等の基盤整備関連の取り組みについて着実に進んでいる。

○農業・林業・沿岸漁業それぞれの新規就業者は増加傾向にあるが、被災地での人手不足や高齢化への対応、就業後の継続的な支援が求められる。

○農産物価格（米・桃・牛肉）は、いまだ残る風評被害に加えて、他県産との競合や米価下落、新型コロナ等の影響により、震災前より低い状況が続いていることから、各地域における農産物の高付加価値化や生産力強化、戦略的な情報発信等の福島ならではの取組によるブランド力の強化を継続していく必要がある。